

(平成 27 年度 JAM・ビクター高齢者・退職者の会)

JVC シニアクラブ
(文責・総会書記:西郷治男)

■日時 : 2014. 10. 9(木) 11:30~12:45

■場所 : 横浜クルーズ・クルーズ (横浜東口・スカイビル27階)

1. 開会 [11:30]

◆はじめに、司会の高石副会長より 1 年間の物故者 3 名～大貫和雄氏(神奈川、2013 年 11 月享年 70 歳)、泉川宏司氏(神奈川、2014 年 1 月享年 71 歳)、石原忠氏(埼玉、2014 年 10 月享年 72 歳)に対し、黙祷が行われた。

◆開会挨拶の後、議長選出の事務局案(宮田宏美氏)が提案され、承認された。

2. 総会役員選出

◆議長の宮田氏が登壇。挨拶の後、議長より書記に西郷が任命された。

3. 会長挨拶 [11:35]

◆菅沼会長より挨拶。

・本日は多数ご参加いただき、今迄で最も多い 67 名(66+遅参1)の出席となった。26 年度の活動はつつがなく遂行し、勧誘による入会者も増えて 240 名を超える会員数となった。

・世の中の動き等、色々と申し上げたいが、ここでは一点に絞ってお話する。我々高齢者にとって社会福祉制度の改善・向上は難しいが、少なくとも維持していくことが必要である。

・日本人の平均寿命は男女平均 84 歳で世界一であるが、WHO(世界保健機構)によると健康寿命も世界一(男性72.3 歳、女性77.7 歳、全体 75 歳)となっている。問題は平均寿命と健康寿命の差であり、これが大きい程、病気や介護で医療費が増大する。現状ではその差が拡大傾向にあることが課題であり、今後は健康寿命の改善が求められている。

・個人的な話であるが、私は定年後 20 年で今年末には 80 歳を迎える。最近健康年齢を意識し、毎日の生活も出来るだけ外に出るようにし、週 4 回はスポーツクラブ、水曜と土、日、祝日は畑仕事というパターン。また毎晩のお酒が美味しいことは健康の証でもある。

・その意味から、今後の活動は出来るだけ健康増進に関する活動をテーマに進めたい。健康で長生き出来るよう、医療費削減のためにも「PPK(ピンピンコロリ※)」を意識し、これからのシニア活動に取り組んでいく。皆様のより一層のご支援ご協力をお願いしたい。

※【ピンピンコロリ】病気に苦しまず元気で長生きし、病まずにコロリと死のうという意味。略;PPK。

4. 来賓挨拶 [11:47]

◆JVCケンウッド労組・大川委員長より挨拶。

・第 13 回総会を祝すと共に、日頃の現役活動へのご支援ご協力に御礼を申し上げる。

・これまで君塚が委員長を務めていたビクター労組は昨年 10 月 1 日、「JVCケンウッド労組」として組合が一つになった。ビクター/ケンウッド双方の元委員長は退任し、昨年 12 月からは私・大川が新たに JVCケンウッド労組委員長となった。今後ともご指導をよろしく願いたい。また 9 月 26 日をもってビクター労連活動も終え、「JVCケンウッド労連」となった。

・会社の状況は、2013 年度売上げ 3163 億円、営業利益 44 億円、経常利益▲1 億円で、従業員も今年 3 月、約 370 名の早期退職により国内 4500 名と小さい会社になってしまった。JVCケンウッドになった今も、商品は JVC、ケンウッドの 2 ブランドで販売しているが、これからは工場や社屋も含めて一つの会社にしていこうという流れになっている。既に米国

- の販売現法はJVCケンウッドアメリカとなって一つの販社となり、欧州も同様の動きである。
- ・2014年度(2015年3月)業績見込みは、売上げ3000億円、営業利益75億円、経常利益45億円で黒字化を見込み、構造改革や組織再編などで販売回復に取り組んでいるが、JVCの強みである映像技術のノウハウをどう生かしていくのかを労組としても主張していく。
 - ・一方、来年4月の統一地方選では、横須賀市議会議員「伊関こうじ」が今度も立候補することになるが、前回当選ながら厳しい結果だっただけに皆様の力をぜひお借りしたい。
 - ・最後に、本総会が盛会となると共に、JVCシニアクラブのさらなる発展を祈念する。

5. 報告 [11:55]

◆田代事務局長より、(1)(2)一括で報告。

(1)平成26年度活動報告

＜議案書1～3ページ参照＞

- ・＜全員に「カラー版活動報告」配布＞ 昨年は「シニアクラブ便り」で報告のように、本部及び支部で活発な活動が行われた。特に本部では音楽祭としてカラオケとジャズのイベントを企画し、多数の参加者があった。
- ・会員数は勧誘による新規加入があり、亡くなられた方や健康上の退会もあったものの、昨年比7名増となり244名となった。但し、総会出欠ハガキで一部退会者が出たため、最新の会員名簿は本総会の議事録と共に、後日送付する。
- ・反省点は、高齢者として座学など学ぶ機会を増やすことが求められ、今後の課題である。

(2)平成26年度会計収支決算報告

＜議案書4ページ参照＞

- ・ほとんどの支出項目が予算どおりながら、繰越金は48万円で前年繰越金の52万円より約4万円減となった。この理由は昨年の総会が川崎市の施設利用のため、例年より4万円増の予算としたが、実績も4万円増となったことで繰越金はその分だけ減少した。

(3)平成26年度会計監査報告

＜議案書5ページ参照＞

- ・会計監査の鎌田氏より「7/31現在の財務諸表について厳正に審査を行った結果、会計処理はすべて適正であることを認めた」と報告された。

【報告事項(1)～(3)に関する質疑】

Q:会費で振込と現金と分けてある理由は？

A:基本的に振込としているが、実際には振込手数料は本部負担となり、その分マイナスになるため、直接手渡し出来る人は現金で頂いている。

～ (1)(2)(3)一括し、拍手で承認。

6. 議案 [12:10]

◆田代事務局長より、(1)(2)一括で提案。

(1)平成27年度活動方針に関する件

＜議案書6～8ページ参照＞

- ・日本の人口は減少傾向にあり、国の政策として地方創生と女性の活用が取り上げられ、今後はこの二つの動きに注目していかなければならない。
- ・一方、昨年4月からの教育資金の非課税制度や来年1月からの相続税改正が行われるため、シニアクラブとしてもこれらの勉強会(座学中心)を企画していく必要がある。
- ・最後に、高齢者も頭はしっかり働かせて、体も健康で元気に楽しく生活できるよう、一人ひとりの力を合わせ、みんなで互いに助け合って頑張っていきたい。
- ・具体的活動は、①会員相互の交流を深めて会員拡大 ②活動の理解・PRのため「JVCシニアクラブ便り」発行 ③地域の仲間との交流・共に行動 ④意志を表示(署名運動、統一地方選への対応) ⑤現役労組との交流、情報交換。

(2)平成27年度会計収支予算に関する件

＜議案書9ページ参照＞

- ・予算額は昨年実績をベースに、予備費を含めて前年並み予算とした。

【議案(1)(2)に関する質疑】

Q: 会員で体が動けなくなっている人は把握しているか？その援助はどう考えているのか？

A: 通常、年会費納入期限を過ぎても未納者が必ずあり督促状を出す、その時点で現状確認し、ご家族からの連絡等で実態を把握している。但し自宅訪問まではやっていない。

～ (1)(2)一括し、拍手で承認。

◆高石副会長より提案。

(3)平成27年度・28年度役員選出の件 <議案書10ページ参照>

《会長》菅沼喜久次 《副会長》高石勝巳 《事務局長》田代 周

《幹事》橋本秀夫・大高光蔵・杉崎隆司・井上純一

《会計監査》鎌田孝雄・飯田耕治郎

《事務局次長》上村孝博 (JVCケンウッド労働組合・中央執行委員)

～ 質疑なし。拍手で承認。

7. その他 [12:32] 田代事務局長より、ゲーム及び署名協力をお願い

・「間違いチェックと番号記入の同時進行ゲーム」 2種類を実施。

・「核兵器廃絶を求める署名」 本人、家族など5名の氏名・住所を記入、回収に協力。

8. 閉会 [12:45]

・議長降壇、書記解任のあと、司会より閉会の挨拶があり、予定通り12:45に閉会した。

・閉会后、懇親会の開始前に、全員で記念撮影が行われた。

■12:50より、同一場所で「交流懇親会」が行われた。

・参加者多数のため、久しぶりの再会で賑やかに歓談。また会員の近況報告や楽しいスピーチ、菅沼会長の歌披露などがあり、最後はビンゴゲームで全員に賞品が渡され、15:00に終了。

以上